

今軒有角子定せし
伊家よりくひれし
に年片しすは年片

東京小倉の秋づき
美一よくお茶に依

常の秋を思はれん
日令一蓮の息留

ふまはまの息留
山と玉柱は健なる

の安ん下す
竹多移りし息留

北の足心元初は話と
存しは 裡れ少く

為勝の二は何か
の口心添下を何か

新上の 親程を何
すりし言一 克す

口心添下を何か
人の好む 今ヨクして

川衝不問の可智之
お付を新上は

東京よりし 是 非
は月子 更りし

打上は
そしこ 息入り元

下流付の仰水の衣
こまよらしくなる

六十歩の茶一介
日買おめは 茶系

日買おめは 茶系
日買おめは 茶系

東京よりし 依令
そしこ 依令

は相たさく目下
一回のを 使みし

ふの位は 右の迷惑
とや一 茶系

い 深しありける 袋
ふの位は 右の迷惑

ふの位は 右の迷惑
ふの位は 右の迷惑

ふの位は 右の迷惑
ふの位は 右の迷惑

ふの位は 右の迷惑
ふの位は 右の迷惑

ふの位は 右の迷惑
ふの位は 右の迷惑

ふの位は 右の迷惑
ふの位は 右の迷惑

おんり
さき
くま
ろく
ろく

若し全甲が病ふのことも
いふは一電機の子はか
直に病ふか

東京小倉の
白山師匠の
又保田信太郎
一こく 又保田信太郎